話題の広場

中央会事業より

組合活力向上事業を実施　　秋田流通サービス事業協同組合

9月29日㈯、横手市の協同組合横手卸センター研修室において、秋田流通サービス事業協同組合を対象に、「中小運輸業界を取り巻く経営課題を踏まえた労務トラブルの傾向と今後の対策」をテーマとした研修会が行われ、運輸業の経営者や人事・労務管理担当者等28名が参加しました。

講師の株式会社企業管理協会代表取締役瀧澤学氏からは、トラブルの多い「配送時の事故防止」と「超過勤務手当」、「従業員の健康管理」等について説明が行われ、事例を参考に傾向と対策を学びました。

参加者からは「日常留意しなければならない事項を確認でき、実務に直結する内容であった。」と満足度の高い研修となりました。

今後、各社の状況に応じた人事評価制度の導入に向けて、就業規則や賃金規程の見直しを図ることとしています。

【研修会の様子】

組合活力向上事業を実施　　秋田県柔道整復師協同組合

10月14日㈰、秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて、秋田県柔道整復師協同組合を対象とした組合活力向上事業を実施しました（出席者120名）。

本事業は、機能訓練指導員の養成と介護予防事業への参入を促進するために、訓練指導を実施する上で必要なポイントを学び、組合員の収益アップに繋げることを目的としています。

【研修会の様子】

講師の遠藤接骨院遠藤徳雄院長からは、「利用者に介護予防事業の継続を希望してもらえるようなサービスに努めること。」「機能訓練に加え、本来の業務である電気治療等を組み合わせ実施すること。」等の具体的なアドバイスがありました。県内においても、介護予防事業を実施する市町村が徐々に増えており、参加者からは「事前にノウハウを学ぶことができて良かった。」等の声が多く聞かれました。

6次産業化スタートアップセミナーを開催

本会では、10月17日㈬から11月13日㈫まで全6回に亘り、秋田市内の農業生産者等を対象に、6次産業化等に取り組もうとする人材の発掘及び育成と地域活性化を目的としたセミナー（秋田市受託事業）を開催しております。

第1回目は、秋田市の西部市民サービスセンターにおいて開催し、加工品販売やレストランの経営等に関心をもつ30名が参加しました。

【セミナーの様子】

セミナーでは、「6次産業化法の概要」、「6次産業化にかかる支援制度」、「認定までの流れと認定のメリット」について説明した他、6次産業化のイメージを掴んでもらうため、県内の先進事業者から、現在取り組んでいる事業内容について発表が行なわれました。

今月は次の日程で開催しますので、6次産業化にご興味のある方は、是非ご参加ください。

	開催日	時　間	会　　場
①	11月　6日㈫	午後2時～4時	秋田市北部市民サービスセンター　（018－845－2261）
②	11月13日㈫	午後2時～4時	秋田市雄和市民サービスセンター　（018－881－3777）

【お問い合わせ先】本会事業振興部工業振興課　☎018－863－8701

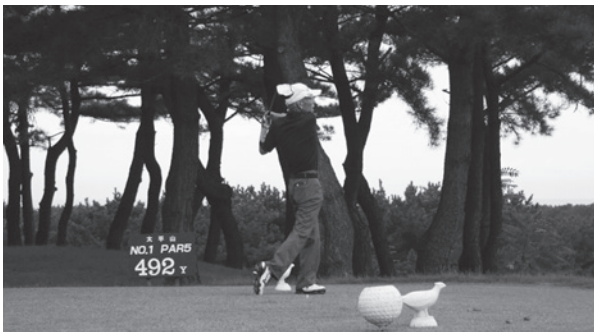
第16回中小企業団体ゴルフ大会開催

10月2日㈫、秋田市の「秋田カントリークラブ」において、第16回中小企業団体ゴルフ大会を開催しました。本大会は、本会会員並びに関係機関相互の交流促進を目的に、今年も多くの組合や企業から協賛を頂いて開催しました。

当日は、天候にも恵まれ、全県から集まった32名の参加者が自慢の腕を競い合いました。

プレーの結果、秋田県稲庭うどん協同組合の佐藤正明理事長（有限会社佐藤養助商店代表取締役）が、ネット72.2で優勝しました。

また、プレー終了後の表彰式では、参加者がお互いの健闘を讃え合い、親睦を深めました。



【大会の様子】

【優勝者　佐藤正明氏】

【結果】

優　勝	佐　藤　正　明 氏	（秋田県稲庭うどん協同組合）
準優勝	藤　原　勇　夫 氏	（秋田市個人タクシー協同組合）
第３位	佐　藤　充　夫 氏	（秋田県鳶土木事業協同組合）
ＢＧ賞	森　田　真　澄 氏	（男鹿南秋生コンクリート協同組合）　75

第2回ボランティア活動を実施　～雄物川河口海岸線クリーンアップに参加～

10月13日㈯、本会職員にとって第2回目となるボランティア活動を行いました。

今回は、秋田市新屋の雄物川河口海岸線のクリーンアップに参加しました（主催：NPO法人秋田パドラーズ）。当日は、秋田市在住の桂三若さん（よしもと芸人）も駆けつけ、海風に混じって時折冷たい秋雨が吹き付ける中、参加者、スタッフを合わせ、約300名が分散して海岸線の清掃活動に取り組みました。主催者によると、雄物川河口の海岸も、以前に比べるとゴミが少なくなったとのことですが、ペットボトル、タイヤなどが2tトラックに収まりきらないほど集められました。

砂浜には木くずや破損した瓶など危険なものもあり、きれいな海岸を維持するために、継続した清掃活動の必要性を感じる体験となりました。

【髙橋専務理事(後列右から4番目)を筆頭に20名が参加】

組合相談コーナー　定款・規約の改正について

Q　定款や規約の変更を行う場合はどのような手続きが必要ですか。また、その際の注意事項についても教えて下さい。

A　定款変更を行うには、総会での特別議決（総組合員の半数以上が出席し、その議決権の2／3以上の賛成を得る議決）が必要となります。そのためには、まず事前に理事会で慎重に協議しておくことが重要です。また、総会においても、組合員に対して十分に説明してください。

総会で議決されたら、総会議事録と併せて定款変更認可申請書を所管行政庁に提出します。（行政庁によって提出部数が異なったり、袋綴じが必要な場合もありますので、まずは本会にご提出ください。内容を確認後、本会より行政庁に提出致します。）

行政庁や変更内容にもよりますが、提出後約1～2週間程度で行政庁から認可書が届きます。これにより変更した定款の効力（認可書到達日）が発生します。また、事業や地区の変更等の場合は秋田地方法務局（本局）への変更登記が必要となります。

なお、定款変更の内容によっては、行政庁との事前協議が必要な場合もありますので、本会にご相談いただくことをおすすめします。

規約の変更については、共済事業を実施している一部の組合を除いて、行政庁の認可を必要としませんので、総会での普通議決で足ります。

ここで、定款・規約の改正について今一度確認してみましょう。
次の説明が正しければ○を、誤っている場合は×を付けて下さい。

1　組合の「定款」も「規約」もその制定・改廃は、総会の特別議決事項である。
2　総会の特別議決で定款を変更した場合、変更事項によっては所管行政庁の認可を経ずに、可決時点でその効力を発する。
3　組合の「規約」は軽微な変更も含めすべて総会の議決事項である。

※回答は10ページに掲載しています。

■卸売業機能強化フォーラムを開催

10月10日㈬、秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて、県内の4卸団地協同組合による「卸売業機能強化フォーラム」が開催され、秋田県や組合員企業などから約160名が参加しました。

本フォーラムは、「手に入れよう。新たな『卸』の羅針盤！」をテーマに、卸売業の活性化を目的として開催されました。

第一部の基調講演では、講師の一般社団法人日本卸売協会副会長宮下正房氏から、「卸売業復権のチャンスは卸団地の機能強化にあり、大震災時対応の共同備蓄センターを目指してもらいたい。」と提言が行われました。

【挨拶をする桑原理事長】

また、パネルディスカッションでは、県外の2名のパネラーと、本県の株式会社ヤマダフーズ代表取締役山田清繁氏（秋田県納豆商工業協同組合理事長）、株式会社桑原代表取締役社長桑原透氏が事例発表を行い、PB商品開発や共同販売、経営の合理化など各社の取り組みが紹介されました。特に、桑原氏の「タブレット端末を活用したローコスト・オペレーション」は、ITを取り入れて事務作業の集約と営業の効率化に成功した事例であり、参加者は熱心に聴講しました。

【事例発表をする山田社長(左)と桑原社長（右）】

引き続き、会場を移して行われたビジネスマッチングでは、来賓を代表して鎌田悟秋田県産業労働部次長と穂積志秋田市長が挨拶を行った後、盛大な交流会が行われました。

■40周年記念式典を盛大に開催　～秋田県室内装飾事業協同組合～

9月28日㈮、秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて、秋田県室内装飾事業協同組合（野口久栄理事長）の創立40周年記念式典と祝賀会が開催され、日本室内装飾事業協同組合連合会角田健副理事長や本会の髙橋清悦専務理事等約50名が出席し、盛大に祝いました。

また、同日開催されたインテリアセミナーでは、インテリアコーディネーターの有限会社アスピラン代表石田美弥子氏から、「風水学やカラーコーディネートの要素を取り入れた生活を豊かに楽しくする手段としてのインテリア」と題して記念講演が行われました。石田氏から、「人間は五感の中で視覚から受ける影響が圧倒的に多いため、配色や色の持つ心理的な効果などの基礎知識を学んで、色の持つ特徴や効果をインテリアに上手に取り入れてもらいたい。」と助言されました。

組合員からは、今回のセミナーで学んだ視覚的効果を営業活動に活かし、お客様が快適だと感じる住環境を提案していきたいという声が多く聞かれました。

【祝賀会の様子】

■50周年記念式典を盛大に開催　～協同組合秋田市民市場～

10月21日㈰、秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて、協同組合秋田市民市場（川村忠理事長）の設立50周年記念式典と祝賀会が開催され、本会から塩田謙三会長をはじめ、佐竹敬久秋田県知事の代理として岩澤道隆産業政策課長や穂積志秋田市長、国会議員等の関係者約200名が出席しました。

川村理事長は、「昭和37年の組合設立以来、秋田市民市場はさまざまな時代の変化に遭遇しながらも、皆様のおかげで着実に発展を続けることができました。この50年で一番大きな改革は、平成14年の改築工事でしたが、高齢化や後継者不足などの問題から、半数の組合員が市場に思いを残しながら去っていかなければなりませんでした。今、残った組合員が、その方々の分も、先代達が築いてきた秋田の食文化の継承と、秋田の台所としての役割を果たしたいと、商いに邁進しております。今後とも、一店一店が地道に正直な商いを続け、顧客の信頼を得るよう努力してまいります。」と挨拶、この後来賓から祝辞が述べられるなど、盛大に節目の年を祝いました。

【祝賀会の様子】

インフォメーション

仙北市の「花豆ぬれ甘なっとう」が本会会長賞を受賞

奨励賞
秋田県中小企業団体中央会会長賞

【花豆ぬれ甘なっとう】

10月15日(月)、市場性・商品性・品質デザイン等に優れた作品を表彰する「第32回秋田県特産品開発コンクール表彰式」が秋田市のアトリオンで行われ、加工食品部門87点の中から、仙北市の有限会社いちご プチ・フレーズ(佐々木正昭代表)の「花豆ぬれ甘なっとう」が奨励賞(秋田県中小企業団体中央会会長賞)を受賞しました。

本商品は、厳選された仙北市産花豆を使用し、職人技によってふっくらとやわらかく仕上げ、素材の旨みを活かし甘さ控えめでしっとりした食感が特徴です。

単品・箱入りともに、アトリオン地下1階「あきた県産品プラザ(株式会社秋田県物産振興会)」で購入できます。(20g×4袋　箱入　840円(税込))※11月15日発売予定

【お問い合わせ先】有限会社いちご プチ・フレーズ
〒014-0371 仙北市角館町大風呂2
☎0187-54-1997

組合ティールーム

秋田県酒造協同組合
理事長　小玉　真一郎 さん

○業界の現状について

当組合は、昭和44年に共同販売や原材料の共同購入などを主な共同事業として設立しました。現在、県内の39の蔵元が加入しています。本県の清酒の出荷量は、昭和50年代をピークに右肩下がりの傾向が続いており、現在はピーク時の3分の1まで落ち込んでいます。

○理事長としての抱負

昨年度は、16年ぶりに前年の出荷量を上回ったため、それを維持していけるように、現代人の食事や宴会の傾向に対応した、吟醸酒や純米酒等の高付加価値商品の製造に力を入れています。また、それらのお酒を適正価格で提供していけるよう、組合全体で取り組んでいきたいと考えております。

平成26年には、本県で国民文化祭が開催されますが、「日本酒で乾杯推進会議・地方大会」も本県の開催となります。このようなイベントを追い風に「常に日本酒がある家庭」を増やしていくのが目標です。当組合の青年部も、中央会の事業を活用して、消費者に好まれる日本酒づくりについて視察や勉強会を行っています。

○座右の銘について

現在、国の重要文化財に指定されている生家に飾られている額で、「成功急ぐべからず。準備怠るべからず。」というものがあります。当社(小玉醸造株式会社)の代表銘柄である「太平山」というお酒のラベルの文字と同じ山口蘭渓の書で、創業メンバーである曾祖父の小玉友吉が大切にしていたものです。

この言葉を浮かべるとき、生涯を事業拡大と地域産業の発展に尽くした曾祖父が偲ばれ、身が引き締まります。

○趣味について

趣味は、映画鑑賞とマラソンです。映画は高校生の時から秋田市有楽町の映画館に通っていましたが、次々と閉館し、とうとう最後の映画館も閉館すると聞いて残念に思っています。マラソンは、昨年、社員に誘われて初めて田沢湖マラソンに出場しました。登りが続くハードな10kmで、ゴールした後の達成感は格別でした。再挑戦の予定で、毎日トレーニングを続けております。

ほかには、大学時代に夢中になったテニスと、留学先でファンになったアメリカンフットボールの試合中継を見るのも楽しみの一つです。

「11月は、連携組織強化月間です」

本会では、毎年11月を連携組織強化月間と位置づけ、11月1日から30日まで「特別相談窓口」を設置して、中小企業者が連携して事業を展開したり、家族や気の合う仲間と起業する企業組合での創業等を積極的に支援していますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

○お問い合わせ先

事業振興部	〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47	☎018-863-8701
大館支所	〒017-0044 大館市御成町二丁目8番14号	☎0186-43-1644
横手支所	〒013-0021 横手市大町7番18号	☎0182-32-0891

国税庁
動画で見せます、税務署の仕事。

国税庁　検索
税の役割と税務署の仕事
税を考える週間 11月11日(日)～17日(土)

支援団体活動レポート

ブロック組合士協議会研修交流会が開催　～秋田県中小企業組合士会～

10月19日（金）、福島県いわき市のスパリゾートハワイアンズにおいて東北・北海道ブロック組合士協議会研修交流会が開催され、秋田県中小企業組合士会（堀川深雪会長）から10名が参加しました。

【坂本征夫顧問】

研修会では、スパリゾートハワイアンズを経営する常磐興産株式会社の坂本征夫顧問が講演を行い、「ハワイアンズは、一山一家の精神で様々な困難を乗り越えてきたが、原発事故の風評被害の影響はあまりに大きく、一企業・一地域では対処のしようがない。被災三県の観光業の回復など本当の復興に向けて皆様の協力と支援をお願いしたい。」と訴えました。

【交流懇親会の様子】

続いて行われたパネルディスカッションでは、「協同組合の社会的役割が震災を通じて世の中に伝わった。」等の報告が行われました。

また、交流懇親会では、男性がアロハシャツ、女性がムームー着用で交流と絆を深め、復興支援への活力を養いました。

第1回研修会を開催　～秋田県アパレル産業振興協議会～

10月20日㈯と21日㈰の2日間に亘り、秋田市の青少年交流センターにおいて、秋田県アパレル産業振興協議会（佐々木繁治会長）の研修会が開催され、15事業所から48名が参加しました。

セミナーでは、「販路拡大と新たな事業展開のための経営革新」をテーマに実習が進められ、講師のJUKI株式会社縫製研究所の楠見正樹氏と清水大真氏からのアドバイスに従い、VTRを使って、間違い探しや、ストップウォッチで作業時間を測定する等の現状分析（稼働分析、工程分析、動作研究、時間研究）を行いました。その後、分析結果に基づいて生産を合理化するための生産設計や工程編成を行いました。

【セミナーの様子】

参加者からは、「少し難しかったけれど、非常に参考になった。」「自社に帰って現状分析を行いたい。」「改善に成功した事例をVTRで見たい。」等、積極的な意見が述べられました。

女性職員セミナーを開催　～秋田県中小企業団体事務局協議会～

10月23日㈫、秋田市のパーティギャラリーイヤタカにおいて、秋田県中小企業団体事務局協議会（佐藤弘幸会長）主催のセミナーと交流会が開催され、組合事務局の女性職員等22名が参加しました。

【セミナーの様子】

セミナーでは、「仕事力向上のための整理収納スキルアップ」をテーマに、整理収納アドバイザーの鈴木久子氏から、「整理収納の効果」や「整然としたオフィスづくりのポイント」について、頻繁に捜し物をした場合の損失額（人件費）や、雑然としたオフィスが来客に与える印象等の具体例などについて講演が行われました。

【交流会の様子】

引き続き、二班に分かれて交流会が開催され、組合事務所での事務作業の進め方など、活発な意見交換が行われました。

参加者からは「セミナーの内容を事務所に持ち帰って全員で取り組みたい。」という声が多く聞かれました。

7ページの回答　1－×、2－×、3－×